

親切運動の取組について

学校名 魚津市立道下小学校

児童数 234名

1 親切運動の取組の紹介

(1) 朝の挨拶運動

- ・毎朝、企画委員が児童玄関前に立ち、挨拶運動を行っている。児童が明るい気持ちで挨拶できるよう、全校児童からマスコットを募集し、各学年から作品を数点選びプラカードにして活用している。また、昨年度に引き続き「にこにこあいさつボランティア」と題して、各学級に挨拶運動への参加を呼び掛けた。日替わりで学級ごとの順番を決め、希望する児童がボランティアで参加している。
- ・昨年10月から、毎月第2週を挨拶週間とし、地域の民生児童委員の方にも朝の挨拶運動に参加していただいている。「元気に挨拶してもらえると嬉しい。」など、地域の方からいただいた言葉を全校児童に紹介することで、よりよい挨拶をしようという意識が高まっている。
- ・本校では、PTA 主体で登校時間の見守りを保護者の方が行ったださっている。また、地域の方がボランティアでパトロール隊を結成し、低学年児童の下校に付き添ったださっている。年度末にはパトロール隊の方にお礼の気持ちを伝える場を設けている。



「挨拶運動の様子」

(2) ボランティア活動

- ・年間を通して環境委員会が主体となりアルミ缶回収を行っている。毎週火曜日を回収日とし、お昼の放送で協力を呼び掛けた。呼び掛けを継続することで協力する児童が少しずつ増えてきた。
- ・12月には企画委員会の呼び掛けで募金活動に取り組んだ。募金回収日は2日間であったが、全校で約150名の児童が協力した。集まったお金は、ユニセフ、複十字シール運動、友情の絵ハガキ、赤い羽根共同募金、能登半島地震災害義援金に募金した。
- ・募金を呼び掛ける際は、社会のための活動、世界の子供たちの命を守るための活動、病気の予防を推進するための活動等に使用されることを知らせ、困っている人に心を寄せられるよう声掛けを行った。



「募金活動の様子」

2 親切運動に取り組んで

- ・委員会を中心に、児童主体で呼び掛けを行うことで、全校児童の活動への参加意欲を高めることができた。特に朝の挨拶ボランティアや募金活動には多くの児童が進んで参加した。
- ・本校では、登下校の見守りや挨拶運動等、地域の方が毎日のように児童に関わったださっている。自分たちが様々な人に支えられていることに気付き、感謝の気持ちを育んでいけるよう支援していくことが大切だと感じている。